

平成 27 年度
 社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 事業実施報告書
 <平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日>

[経 過 報 告]

厳しい経営状況の中、外部機関に経営診断をお願いし、健全化に向けた様々な取り組みを進めました。

平成 28 年度以降の 3 か年で状況が好転するよう更なる改革・効率化を進めます。

【志摩市の人口等の推移】

	平成 23 年 4 月	平成 24 年 4 月	平成 25 年 4 月	平成 26 年 4 月	平成 27 年 4 月
人口	57,020 人	56,224 人	55,526 人	54,595 人	53,592 人
世帯数	22,718 世帯	22,787 世帯	22,968 世帯	22,987 世帯	22,902 世帯
65 歳以上人口	17,731 人	17,947 人	18,370 人	18,748 人	19,001 人
高齢化率	31.1%	31.9%	33.1%	34.3%	35.5%

I. 法人運営事業

1. 組織経営基盤の充実強化

(1) 組織機能の強化

地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに実施していくため、理事会・評議員会などを中心として、法人運営の強化を図りました。

〈1〉理事会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第 1 回] 5 月 28 日	1. 評議員（補欠）の選任について 2. 定款の一部変更について 3. 職員給与規程の一部変更について 4. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 5. 日常生活自立支援事業利用料助成規程の制定について 6. 通所介護センターきらり事業所の廃止について 7. 平成 26 年度事業実施報告について 8. 平成 26 年度社会福祉事業会計収入支出決算について	理事 14 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第 2 回] 10 月 16 日	1. 評議員（補欠）の選任について 2. 職員就業規程の一部変更について 3. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 4. 的矢地区構想・的矢小学校舎の利活用について	理事 12 名 監事 1 名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第 3 回] 12 月 17 日	1. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 2. 特定個人情報等取扱規程の制定について 3. 平成 27 年度資金収支第 1 回補正予算について	理事 11 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

[第4回] 3月29日	1.平成27年度資金収支第2回補正予算について 2.定款の一部変更について 3.契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 4.選定定年制に関する規程の一部変更について 5.事務局規程の一部変更について 6.就労継続支援B型事業所運営規程の一部変更について 7.法人後見受任要綱の制定について 8.認定生活困窮者就労訓練事業実施要綱の制定について 9.平成28年度事業計画について 10.平成28年度資金収支予算について	理事12名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
----------------	---	---------------	----------------------

〈2〉監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第1回] 5月21日	平成26年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成26年度事業実施報告書 ②平成26年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事2名	磯部健康福祉センターかがやきボランティア室
[第2回] 11月20日	平成27年度中間監査（下記書類を中心に監査） ①平成27年度事業実施中間報告書 ②平成27年度資金収支計算書	監事2名	磯部健康福祉センターかがやきボランティア室

〈3〉評議員会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 5月28日	1.定款の一部変更について 2.平成26年度事業実施報告について 3.平成26年度社会福祉事業会計収入支出決算について	評議員31名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第2回] 12月17日	1.役員（補欠）の選任について 2.平成27年度資金収支第1回補正予算について	評議員25名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第3回] 3月30日	1.役員（補欠）の選任について 2.平成27年度資金収支第2回補正予算について 3.定款の一部変更について 4.平成28年度事業計画について 5.平成28年度資金収支予算について	評議員25名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

〈4〉総務部会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 6月23日	1.契約職員・パート職員の賃金表について 2.職員給与規程について	理事4名	磯部健康福祉センターかがやき研修室

〈5〉福祉事業部会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 8月6日	1.的矢地区構想について 2.職員給与規程について 3.契約職員・パート職員の賃金表について	理事8名	磯部健康福祉センターかがやき研修室

〈6〉理事懇談会

期日	協議事項	出席者	開催場所
[第1回] 1月20日	1.現状の問題点と改善案について 2.各サービス事業の状況について 3.各施設の修繕について 4.平成28年度予算について	理事10名	磯部健康福祉センターかがやき研修室

[第2回] 2月17日	1.平成28年度予算について 2.各サービス事業の状況について 1.現状の問題点と改善案について(前回の続き)	理事11名	磯部健康福祉センターかがやき 研修室
[第3回] 3月16日	1.平成28年度志摩市社会福祉協議会の組織について 2.契約職員・パート職員の給与・手当の単価表について 3.志摩市社会福祉協議会における課題項目と対応・改善案について 4.選択定年制に関する規程の一部変更について	理事6名	磯部健康福祉センターかがやき 研修室

(2) 財政基盤の強化

本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。

〈1〉一般会費の状況

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所
納入件数	1,347件	721件	2,501件	3,383件	2,265件
納入金額	675,400円	349,803円	1,253,125円	1,641,465円	1,121,400円
納入件数合計	10,217件〔前年比-236件〕		納入金額合計	5,041,193円〔前年比円〕-173,359円	

〈2〉賛助会費の状況

	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所
納入件数	10件	27件	14件	34件	45件	25件
納入金額	30,000円	81,000円	42,000円	149,000円	145,000円	75,000円
納入件数合計	155件〔前年比±0件〕		納入金額合計	522,000円〔前年比円〕-9,000円		

〈3〉特別会費の状況

	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所
納入件数	11件	18件	40件	21件
納入金額	85,000円	130,000円	205,000円	203,000円
	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
納入件数	100件	52件	0件	242件
納入金額	605,000円	435,000円	0円	1,663,000円

〔前年比：+4件／-17,000円〕

〈4〉会費の推移

〔単位：円〕

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般会費	6,132,694	5,661,558	5,335,202	5,214,552	5,041,193
賛助会費	545,000	659,000	631,850	531,000	522,000
特別会費	1,813,000	1,763,000	1,750,000	1,680,000	1,663,000
合計	8,490,694	8,083,558	7,717,052	7,425,552	7,226,193

〈5〉寄附金の状況

〔単位：円〕

	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所
寄附件数	4件	9件	10件	2件
寄附金額	424,121円	334,092円	10,366,115円	40,000円

	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
寄附件数	17 件	16 件	2 件	60 件
寄附金額	822,797 円	529,965 円	41,748 円	12,558,838 円

[前年比：-5 件／+9,800,042 円]

〈6〉 年度別寄附金額

[単位：円]

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
寄附金	4,888,869	3,618,158	3,980,459	2,758,796	12,558,838

(3) 組織の活性化

人事考課制度を試行的に導入し、職員の資質向上と能力開発を図りました。また、職員の資質向上を図るため研修や講習へ参加させ、専門的な知識や技術の維持向上に努めました。(主な研修会を記載)

〈1〉 人事考課制度

期日	内容	出席者	開催場所
5 月 22 日	志摩広域行政組合における人事評価の取組みについて説明を受けました。	管理職	磯部健康福祉センターかがやき研修室
6 月 1 日	正職員を対象として勤務評定報告書の作成を依頼し、その後、各課長において面談を実施しました。(業務目標の設定)		
10 月 5 日	人事評価研修 講師：(株)話し方教育センター	管理職	志摩特別養護老人ホームともやま苑
11 月中旬	勤務評定報告書にて設定した目標に対する自己評価を行いました。		
12 月期中	各課長において面談を実施し1次評価を行いました。		
1 月期中	事務局長において2次評価を行いました。		

〈2〉 労働災害の低減に向けた取り組み

委員会名	開催回数	主な協議事項
浜島支所安全衛生委員会	0 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日勤務の取り扱いについて ・ 時間外勤務の取り扱いについて ・ 施設内の環境整備点検について ・ 消防訓練（総合訓練）の実施について ・ ストレスチェック制度の導入について ・ 病気休暇中の職員の状況について
大王支所安全衛生委員会	3 回	
阿児支所安全衛生委員会	6 回	
磯部支所安全衛生委員会	12 回	
障がい施策室安全衛生委員会	7 回	

〈3〉 職員研修

【総務課】

月	研修名など
5	法人役員及び幹部職員研修会
6	雇用主説明会、社会福祉施設における労務安全管理講習会
7	マイナンバー制度説明会
9	ストレスチェック制度導入に係る講習会、公正採用選考研修会
10	社会保険事務セミナー、障がい者職業生活相談員講習、三重県社会福祉大会
12	退職手当制度事務研修会、
2	地域公益活動に関する説明会
3	障がい者雇用納付金制度事務説明会

【地域支援課】

月	研修名など
4	生活困窮者自立支援事業の実施について鳥羽市社会福祉協議会と情報交換会、日常生活自立支援事業 新任専門員研修会
5	生活困窮者自立支援事業の実施について民児協連合会総会で事業説明を実施、伊勢志摩地域生活福祉・就労支援協議会
6	職業紹介責任者講習、相談支援員研修会、ボランティアコーディネーター養成研修「企画づくりを学ぶ」
7	生活困窮者緊急支援に係る説明会、生活困窮者自立支援事業の実施について伊勢市社会福祉協議会へ事業実施説明、ひきこもり支援者スキルアップ研修会、日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修Ⅰ、就労準備支援事業従事者養成研修、生活支援コーディネーター養成研修、ボランティアコーディネーター養成研修「広報を学ぶ」
8	多気度会福祉事務所より認定事業者の申請手続き説明を受ける、日常生活自立支援事業第1回専門員事例検討会
9	志摩市ふくし総合支援室主催ケアマネジャー研修にて生活困窮者自立支援制度の説明を実施
1	法人後見従事者養成研修会

【居宅介護支援課】

月	研修名など
4	志摩市民病院市民公開講座
5	三重県主任介護支援専門員研修、福祉用具セミナー
6	三重県主任介護支援専門員研修、三重県介護支援専門員研修課程Ⅰ、三重県社会福祉協議会業務別研修【老人Ⅰ】、県立志摩病院多職種研修「風邪症状に見える病気の識別」、県立志摩病院多職種研修「熱中症にご用心」、福祉用具セミナー
7	三重県主任介護支援専門員研修、三重県介護支援専門員研修課程Ⅰ、福祉用具セミナー、県立志摩病院多職種研修「心臓を中心とした疾患の知識を習得しよう」、県立志摩病院多職種研修「夏に多い皮膚疾患」、県立志摩病院多職種研修「整形外科に多い高齢者の外傷」、県立志摩病院多職種研修「薬に対する正しい知識を持とう①」、福祉用具セミナー、ふくし総合支援室第1回ケアマネジャー研修会、第2回介護支援専門員・日赤MSW合同研修会
8	三重県主任介護支援専門員研修、三重県介護支援専門員研修課程Ⅰ、介護支援専門員基礎研修、福祉用具セミナー、県立志摩病院多職種研修「薬に対する正しい知識を持とう②」
9	介護支援専門員更新研修Ⅱ、三重県介護支援専門員研修課程Ⅰ、介護支援専門員基礎研修、福祉用具セミナー、ゲートキーパー研修会、志摩市介護サービス事業者連絡会前期研修、県立志摩病院多職種研修「難病法に基づく新たな医療費助成制度について」、県立志摩病院介護施設職員向けBLS(一般救命処置)研修、ふくし総合支援室第2回ケアマネジャー研修会、三重県相談支援従事者現任研修
10	志摩市介護サービス事業者連絡会第3回定例会、県立志摩病院第2回「志摩病院と居宅介護支援事業所連絡会」「志摩病院と施設・グループホーム連絡会」、県立志摩病院多職種研修会「パーキンソン病の診断と治療について」、県立志摩病院多職種研修会「糖尿病に関する専門知識を持とう」、県立志摩病院多職種研修会「CT・MRI等の放射線検査について知ろう」
11	県立志摩病院多職種研修会「精神科領域における暴力行為への考え方と対応のエッセンスを学ぼう」、介護予防従事者研修会、県介護支援専門員協会課題整理総括表・評価表の作成と活用～よりよいケアプラン作成のために～

12	県立志摩病院多職種研修会「増加する大腸がんの予防・診断・治療について」、県立志摩病院多職種研修会「栄養補助食品を上手に活用しよう」、ふくし総合支援室第3回ケアマネジャー研修会「こんな時どう対応する？グループワークを通してケアマネジメン トの質を高めよう！」、県立志摩病院住民学習会「音楽のある生活～心豊かに過ごそう」 県立志摩病院多職種研修会「頭痛の診断と治療について」、発達障がい講習会
1	志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議（おとな部会）、県立志摩病院住民学 習会「本当に必要な健診/検診とは…？」
2	志摩地域の医療を考えるタウンミーティングへの参加、県立志摩病院第1回志摩地域ま るごとケア推進交流会、県立志摩病院住民学習会「食生活から健康を考えよう」、ふく し総合支援室「多職種連携におけるコミュニケーションの基本について」、県立志摩病 院多職種研修会「高血圧がもたらす病気いろいろ」、ふくし総合支援室成年後見制度に 関する研修会、県立志摩第3回「志摩病院と居宅介護支援事業所連絡会」「志摩病院と 施設・グループホーム連絡会」、県立志摩病院多職種研修会「冬の疾患いろいろ」、第15 回近畿介護支援専門員研究大会（京都大会）（2/19～20）、ふくし総合支援室第4回ケ アマネジャー研修会、精神福祉保健連絡会、要介護施設従事者等向け虐待防止に関する研 修会
3	志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議（全体会）、志摩市介護サービス事業 所連絡会 保険者との意見交換会、県立志摩病院多職種研修会「レントゲン・CT・MRI などの画像の見方について」、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会 伊勢志 摩ブロック研修 「対人援助専門職に求められる接近困難な高齢者等への介入、支援の 在り方」～セルフネグレクト事例を通して～、ふくし総合支援室「伊勢赤十字病院の退 院時支援と地域連携について」、県立志摩病院住民学習会「春先に気を付けたい病気や 怪我について、生活困窮者自立支援講演会、計画相談研修会、志摩市地域自立支援協議 会研修会

【訪問サービス課】

月	研修名など
4～	毎月のヘルパー会議にて、認知症、感染症等の勉強会を実施
6	三重県訪問看護ステーション連絡協議会中央研修、「訪問看護における認知症ケアのポ イント」
7	平成27年度障害福祉サービス事業者等集団指導（障害居宅）、訪問入浴実技レベルアッ プ研修、平成27年度介護福祉サービス事業者等集団指導（訪問・訪問入浴・訪問看護・福 祉用具）
9	同行援護従事者養成研修
10	福祉用具研修「在宅生活における福祉用具の活用」
11	三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区ブロック研修会、みえ福祉用具フォーラム 2015「認知症と食事」「福祉用具を安心安全に利用するための基本」、志摩市介護サー ビス事業者連絡会後期研修会「認知症ケアについて」
12	CVポート穿刺ナース育成研修（訪問看護）、
3	新しい総合事業について（訪問介護）、

【通所介護課】

月	研修名など
5	三重県デイサービスセンター協議会総会&研修会
6	若年性認知症研修会、三重県デイサービスセンター協議会伊勢志摩ブロック研修会、安 全管理講習会
7	食品衛生講習 三重県デイサービスセンター協議会＜第二回研修＞

8	認知症介護実践者研修、平成27年度介護保険等サービス事業者事業集団指導
9	認知症介護実践者研修、相談支援現任研修
10	介護者の腰痛予防研修、若年性認知症介護者研修会、県立志摩病院多職種研修会
11	認知症介護実践者研修、介護予防従事者研修会
12	認知症介護実践者研修、三重県デイサービスセンター協議会<第四回研修会> 県立志摩病院 多職種研修会
1	認知症介護実践者研修
2	ふくし総合支援室研修（無題、グループワーク）
3	三重県デイサービス協議会総会<第五回研修会> 新しい総合事業についての意見交換会

【障がい福祉課】

月	研修名など
通年	市自立支援協議会関連研修、県自立支援協議会関連研修、障がい福祉部虐待防止・権利擁護研修
5	安全運転管理者講習
6	県新規事業所説明会（就労移行）、特別支援学校等視察研修（度会学園）、県相談支援従事者等専門コース別研修（スーパービジョン・指導者）
7	夏期衛生講習会、特別支援学校等視察研修（わかば学園）、県水福連携研修会、市ケアマネージャー研修会、県相談支援従事者初任者研修
10	三重県発達障害理解促進事業公開講座、三重県障害者虐待防止・権利擁護研修、度会特別支援学校公開授業・食品衛生セミナー
11	三重県サービス管理責任者研修（介護、児童、就労）
12	障がい福祉部全職員研修「発達障がい者講習会」
1	三重県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）、伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会研修会「甲賀福祉圏域における地域生活支援拠点について」
2	三重県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）「施設における高齢者虐待を防止する為に」、接遇研修、動作法に関する講義及び実地研修・実技指導、新規事業所向け説明会
3	障がい福祉部全職員研修「個別支援計画の意義と役割」、自閉症講習会（れんげの里）、視察研修（四日市、松阪）

2. 福祉拠点の充実

（1）志摩市地域福祉センターの運営

志摩市から指定され地域福祉センターの管理を行うとともに、地域福祉センターにおいて福祉を目的とする住民の交流及び活動の場を提供し、地域における住民の自主的な福祉活動を支援しました。（志摩市及び本会主催の会議等を含む）

指定管理施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—
大王地域福祉センター	件数	5件	4件	4件	3件	0件	5件	21件
	利用者数	44名	48名	42名	40名	0名	48名	222名
阿児地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—
磯部地域福祉センター	件数	25件	33件	33件	21件	26件	20件	158件
	利用者数	246名	389名	458名	284名	262名	179名	1,818名

指定管理施設名	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大王地域福祉センター	件数	6件	5件	4件	4件	5件	4件	28件	49件
	利用者数	49名	62名	39名	38名	52名	18名	258名	480名
阿児地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
磯部地域福祉センター	件数	31件	21件	31件	25件	25件	34件	167件	325件
	利用者数	578名	399名	532名	250名	336名	367名	2,462名	4,280名

3. 福祉活動の啓発

(1) 広報活動の推進

広報誌やホームページを活用して本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。

〈1〉志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [<http://www.shima-fukushikyo.or.jp>]
内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ（支所活動・市民活動）、その他

〈2〉広報誌「志摩市社協だより」の発行

発行回数 / 計6回発行（奇数月の1日発行）

A4版2色刷り（12ページ）/約17,560部発行（1回あたり）

4. 事業評価と今後の課題 [法人運営事業]

本年度の決算状況は、前年度対比において約77,000千円改善され、約7,300千円の黒字決算となりました。ただ、収入面においては依然と厳しい状況が続いており、介護保険収益及び障がい福祉サービス等事業収益は前年度と比べると減収という結果となりました。黒字決算となった主な要因は支出面にあり、賞与カットや退職などによる人件費及び職員一人ひとりが経費の節約を目指して創意工夫したことによる事業費、事務費の圧縮などが挙げられます。本年度は、黒字決算となったものの収益構造が改善されたわけではないことから、引き続き理事会などにおいて経営改善策を検討し、推し進めていくことが必要であると思われま。

II. 地域福祉活動推進事業

1. ボランティアセンター事業

(1) ボランティア活動の相談支援

〈1〉相談支援実績

ボランティア・市民活動の相談窓口となり、ボランティア・市民活動に関する相談援助、コーディネート業務（調整）、情報提供、登録事務、活動費の助成などの業務を全般的に行いました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	市外	合計
相談・助言	64件	7件	5件	41件	38件	14件	169件
登録団体数	7団体	9団体	8団体	17団体	18団体	0団体	59団体
登録団体会員数	108名	311名	216名	372名	388名	0名	1,395名
個人登録者数	6名	1名	21名	20名	22名	2名	72名
活動費の助成 (1団体/上限10,000円)	60,000円	60,000円	76,000円	130,000円	170,000円	0円	496,000円

〈2〉地域福祉を推進する団体への事業費の助成〔一般募金・歳末たすけあい募金配分金を使用〕

地域において生活支援を求めている人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民による先駆的な福祉活動やまちづくり活動の推進を図るために、創意工夫をこらして主体的にすすめる事業に対し、共同募金を財源として事業費を助成しました。

〈助成団体〉

助成総額 1,801,000円 /		助成団体数 19団体	
団体名	助成額	団体名	助成額
阿児町心身障害児者育成会	100,000円	みえ防災コーディネーター志摩の会	90,000円
アリス	100,000円	鳥羽志摩地域家族会みしま会	100,000円
磯部楽打天晴倶楽部	100,000円	えがお志摩保育園	100,000円
しま子育て応援団	100,000円	特定非営利活動法人夢ひこーき	100,000円
志摩人形クラブ	76,000円	浜島町自治会連合会	100,000円
志摩夢まちサポーターズ	100,000円	大王町自治会連合会	100,000円
手話サークルあいの会	100,000円	志摩町自治会連合会	100,000円
大王地区夢まちづくり委員会	100,000円	阿児町自治会連合会	100,000円
特定非営利活動法人 TEAM 笑美 S	100,000円	磯部町地区自治会連合会	100,000円
のぞみ会	35,000円		

〈3〉音声情報提供事業

朗読ボランティアグループ（やまびこ：浜島、夕凧：大王、浜風：阿児、さくらんぼ：磯部）の協力を得て、視覚障がい者を有する方に、志摩市が発行する「広報しま」、「議会だより」及び志摩市社会福祉協議会が発行する「社協だより」などを音訳し配布しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
実利用者数	1名	1名	2名	10名	10名	24名

〈4〉地区夢まちづくり委員会

①地区夢まちづくり委員会

	大王地区	志摩地区	合計
開催回数	11回	12回	23回
委員数	13名	32名	45名

②地区夢まちづくり委員会の活動

地区	期日	内容及び参加者数
大王	4月7日	花見会 参加者数：51名
	9月5日	きれいにしよーな大作戦 参加者数：63名
	12月4日	みんなのお楽しみ会 参加者数：95名
	2月6日	きれいにしよーな大作戦 参加者数：52名
	3月23日	春のお楽しみ会 参加者数：86名
志摩	5月10日	第1回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数：133名
	7月12日	第2回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数：111名
	10月4日	第3回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数：107名

2. 福祉教育支援事業

(1) 福祉協力校の指定〔一般募金配分金を使用〕

児童・生徒の頃から幼少者・高齢者・障がい者等との交流体験などを通じて、子どもたちがさまざまな人々を自然に受け入れ、福祉への関心を育むことを目的に市内の学校を福祉協力校として指定し、福祉学習を推進する事業費を助成しました。

〈1〉福祉協力校の指定

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
30,000 円	2 校	1 校	4 校	6 校	3 校	16 校
40,000 円	0 校	0 校	0 校	1 校	0 校	1 校
60,000 円	0 校	1 校	0 校	3 校	2 校	6 校
合 計	60,000 円	90,000 円	120,000 円	400,000 円	210,000 円	880,000 円

〈2〉福祉学習

子どもたちに福祉への関心を呼び覚まし、その実践を通じて、福祉のまちづくりを支える基盤となる社会連帯の精神を育むことを目的に市内の学校と連携して福祉学習を実施しました。

地区	期日	内容	会場	参加者
浜島	3 月 9 日	高齢者疑似体験教室	浜島小学校	浜島小学校 児童 18 名 (4 年生) 教諭 1 名
大王	7 月 22 日	夏休み福祉体験教室 「波切サロン交流」	波切柔剣道場	町内小中学校 児童生徒 38 名
	8 月 3 日 8 月 4 日 8 月 5 日 8 月 7 日 8 月 25 日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	ゆうゆう苑	町内小中学校 児童生徒 28 名
	8 月 3 日 8 月 4 日 8 月 5 日	夏休み福祉体験教室 「あいのその作業場体験」	あいのその	町内小中学校 児童生徒 10 名
	8 月 20 日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	町内小学校 児童 8 名 ボランティア 8 名 あいのその利用者 11 名
	9 月 15 日	車いす体験教室	波切小学校	波切小学校 児童 28 名 (5 年生)
	志摩	2 月 23 日	視覚障がい者疑似体験	片田小学校
阿児	6 月 19 日	車いす学習	鵜方小学校	鵜方小学校 児童 70 名、教諭 3 名 (4 年生 3 クラス)
	10 月 2 日	ガイドヘルプ体験	鵜方小学校	鵜方小学校 児童 70 名、教諭 3 名 (4 年生 3 クラス)
	10 月 5 日	高齢者疑似体験教室	神明小学校	神明小学校 児童 37 名 (5 年生 2 クラス)
	10 月 15 日	点字学習、ふれあい学習	神明小学校	神明小学校 児童 45 名 (4 年生 2 クラス)

	10月15日	視覚障がい者とのふれあい学習	神明小学校	神明小学校 児童70名(4年生3クラス)
	10月27日	手話教室	神明小学校	神明小学校 児童36名(2年生2クラス)
	10月29日	視覚障がい者とのふれあい学習	甲賀小学校	甲賀小学校 児童17名(4年生)
	10月29日	点字学習、ふれあい学習	立神小学校	立神小学校 児童8名(4年生)
	3月3日	車いす学習	甲賀小学校	甲賀小学校 26名(4年生)
磯部	8月19日	夏休み福祉体験教室 「地域見守り体験」	磯部町内	磯部中学校 生徒5名、教諭1名 ボランティア8名

〈3〉介護人材の育成支援

次の世代を担う介護・福祉の人材を育成するため高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れました。

[実人数]

	地域支援課本部	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
社会福祉士相談援助実習	3名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名
介護等体験実習	0名	3名	0名	0名	0名	0名	10名	13名
福祉・介護の職場体験実習	0名	1名	0名	0名	1名	1名	0名	3名
その他	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	1名
合計	3名	4名	0名	0名	1名	2名	10名	20名
◆社会福祉士相談援助実習 / 社会福祉士受験資格取得に係る実習(180時間以上) ◆介護等体験実習 / 小、中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間) ◆福祉・介護の職場体験実習 / 福祉・介護の職場に関心がある方の実習								

3. 小地域福祉活動

(1) ふくし懇談会の開催支援

地域の生活課題の洗い出しや解決策について検討することを目的として、自治会関係者、民生委員児童委員、ボランティアなどの地域リーダーを交えてふくし懇談会を開催しました。

期日	内容	会場	参加者
6月27日	地域生活支援コーディネート事業説明会	間崎島離島開発総合センター	24名
9月2日	地域生活拠点づくり事業実施説明会	的矢区民センター	32名
12月5日	地域生活支援コーディネート事業中間報告会及び懇談会	間崎島離島開発総合センター	9名

(2) 小地域支え合いネットワーク

安乗地区の小地域ネットワークについて、運営会議に参加し、情報共有を行いました。

期日	内容	会場	参加者
5月15日	ネットワークあのり 第1回定例会	安乗漁民センター	11名

(3) 民生委員児童委員協議会

地区民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員との連携を一層強化し、小地域での福祉活動を推進しました。

協議会名	委員数	定例会	役員会	専門部会
浜島地区民生委員児童委員協議会	18名	6回	1回	0回
大王地区民生委員児童委員協議会	20名	6回	0回	5回
志摩地区民生委員児童委員協議会	31名	6回	6回	6回
阿児地区民生委員児童委員協議会	48名	6回	6回	0回
磯部地区民生委員児童委員協議会	21名	6回	6回	6回

(4) 福祉委員会

地域において福祉に関する課題や要望を把握し、助け合い活動を展開して地域の人たちがともに「福祉でまちづくり」をすすめていく「推進役」である福祉委員会の活動を支援しました。

地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額
浜島	桧山路地区福祉委員会	10名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円
	塩屋地区福祉委員会	12名	サロンの実施、会食会など	65,000円
	迫子地区福祉委員会	14名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円
大王	船越地区福祉委員会	7名	訪問活動、炊き出し体験など	65,000円
阿児	鵜方地区福祉委員会	12名	見守り活動、地域ボランティアへの協力	65,000円
	神明地区福祉委員会	17名	見守り活動、ふれあい交流会など	65,000円
	立神地区福祉委員会	16名	見守り活動、資源回収など	65,000円
	志島地区福祉委員会	12名	見守り活動、炊き出しなど	65,000円
	甲賀地区福祉委員会	9名	見守り活動、サロンの実施など	65,000円
合計				585,000円

(5) 見守り支援員

磯部町内の自治会に対し、見守り支援員を依頼し、安否確認活動を推進しました。

地区	内容
磯部	磯部町内の21地区の各自治会に160名の見守り支援員をお願いして、見守りが必要な方に日頃の自治会活動を通じて安否確認などの支援活動を行いました。

(6) 地域見守り事業〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕

訪問活動やふれあい弁当の配食サービスなどを通じて、地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めました。

◇ 定期訪問等（ふれあい弁当の配食・安否確認）						
	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
延べ実施回数	20回	20回	18回	20回	20回	98回
延べ利用者数	1,124名	331名	1,368名	633名	1,349名	4,805名
◇ 会食サービス（相互交流・親睦）						
	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
延べ実施回数	1回	0回	1回	0回	1回	3回
延べ参加者数	57名	0名	16名	0名	45名	118名

地区	実施月	内容	延べ利用者数
浜島	8・9月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行いました。 実施回数／2回	91名
大王	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行いました。小・中学生も同行し、見守り訪問の体験を行いました。 実施回数／4回	72名
志摩	7～9月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行いました。 実施回数／6回	494名
阿児	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、福祉委員会や小中学生が、日用品や花、飲み物等を配布し安否確認を行いました。 実施回数／各地区2～4回	100名
磯部	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品や磯部小学校の児童の手作りカードをボランティアが配布し、安否確認を行いました。 実施回数／2回	140名
	4～3月	絵手紙ボランティアや小学生などが、絵手紙の作成に協力し、郵便局と連携して、郵便物を配達する際に安否確認を行いました。	521名

(7) 地域ふれあいサロン支援事業〔一般募金配分金を使用〕

地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
実施箇所数	7箇所	2箇所	8箇所	10箇所	18箇所	45箇所
延べ実施回数	91回	37回	186回	136回	183回	633回
延べ利用者数	1,899名	339名	1,738名	3,210名	3,492名	10,678名
助成件数	7件	2件	8件	10件	18件	45件
助成額	207,000円	58,000円	196,000円	298,000円	511,000円	1,270,000円

(8) 防災関連事業

〈1〉 災害対応講座の開催

ボランティアの受け入れやコーディネート力を養うとともに、平常時から関係機関との連携や地域コーディネートを担う人材との繋がりを広げ、共に学ぶ機会として、災害ボランティア講座を開催しました。

期日	内容	会場	参加者
8月20日	災害ボランティア講座（講演・演習）	阿児アリーナ	51名
8月21日			63名
10月2日			30名
10月23日			14名

〈2〉 志摩町地域防災対策に向けた協力支援

清水宣明教授（愛知県立大学）の協力により、自治会を中心とした地域防災対策の構築に取り組みました。

期日	内容	会場	参加者
4月11日	和具地区地域防災まち歩き	和具地区	15名
6月26日	地域防災対策に向けた視察見学	東大淀小学校、大淀小学校	16名

7月24日	間崎地区地域防災まち歩き	間崎地区	5名
9月25日	地域防災対策に向けた視察見学	水産高校	14名
10月3日	第1回布施田少年消防クラブまち歩き	布施田地区	12名
10月9日	地域防災対策に向けた視察見学	志摩の里	14名
11月6日	地域防災対策に向けた視察見学受入 (東大淀小学校)	和具地区、志摩の里	20名
12月19日	第2回布施田少年消防クラブまち歩き	布施田地区	7名
1月23日	布施田少年消防クラブまち歩きまとめ	布施田地区	14名

〈3〉子ども向け防災講座「地震から子どもをまもりたい！！」の開催

志摩市や関係機関と連携して、防災意識の向上を目的とした事業に取り組みました。

期日	内容	会場	参加者
11月14日	防災グッズ創作、防災用品展示 啓発パネル展示、啓発DVD放映	鵜方小学校（鵜方小フェスタ）	来場者多数
3月14日	乳幼児・保護者を対象にした防災講座 防災体験、非常食の試食	磯部健康福祉センターかがやき	16名

（9）志摩市地域福祉フェスタ

第2次志摩市地域福祉活動計画に掲げた地域福祉活動を推進するための啓発事業を志摩市、市民と協働して開催するための準備をすすめました。

期日	内容	会場	参加者
5月22日	第2回事務局会議	志摩市役所	8名
7月2日	第3回事務局会議	志摩市役所	8名
7月22日	第4回事務局会議	志摩市役所	8名
7月28日	第1回実行委員会	志摩市役所	24名
8月6日	第1回ワーキンググループ会議（同時）	サンライフあご	21名
8月11日	第5回事務局会議	志摩市役所	8名
8月31日	第2回ワーキンググループ会議（同時）	サンライフあご	21名
9月17日	第2回実行委員会	志摩市役所	14名
	第3回ワーキンググループ会議（アクション）	志摩市役所	5名
9月24日	第3回ワーキンググループ会議（ステージ）	サンライフあご	8名
9月28日	第3回ワーキンググループ会議（アクション）	サンライフあご	7名

（10）地域福祉活動計画の検証と3次計画の検討

〈1〉地域福祉計画調査研究事業の実施

第3次地域福祉（活動）計画（平成29年度～）の策定に向けた調査研究事業の一環として、住民座談会や市民アンケート、中学生アンケート、事業所アンケートの実施により地域の実態やニーズの把握を先駆けて行い、地域の実情に合わせた活動計画の策定を見据えた研究活動を実施しました。

また、志摩市、三重大学、(株)都市環境研究所との研究協議、ワーキング会議を重ねるとともに地区（的矢・間崎）の視察調査活動や地域関係者（自治会、民生委員等）への聞き取り調査を実施しました。

期日	内容	会場
4月8日	地域福祉計画調査研究事業研究協議	三重大学 （株都市環境研究所）
5月1日	地域活性化支援事業研究協議	志摩市役所
5月12日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	三重大学 （株都市環境研究所）
6月11日	地域福祉計画調査研究事業研究会議	志摩市役所
6月18日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	志摩市役所
6月19日	地域福祉計画調査研究事業4者契約打ち合わせ	三重大学
6月26日	地域福祉計画調査研究事業契約	三重大学
7月23日	地域福祉計画調査研究事業研究協議	三重大学
8月4日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	（株都市環境研究所）
8月31日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	志摩市役所
9月14日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	（株都市環境研究所）
10月6日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	（株都市環境研究所）
11月5日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	（株都市環境研究所）
12月10日	地域福祉計画調査研究事業ワーキング会議	（株都市環境研究所）
1月21日	地域福祉計画調査研究事業事務局会議	（株都市環境研究所）
2月4日	地域福祉計画調査研究事業事務局会議	三重大学
3月17日	地域福祉計画調査研究事業事務局会議	（株都市環境研究所）

〈2〉住民座談会の実施

志摩市・三重大学・（株都市環境研究所）と実施に向けた協議を重ね、第3次地域福祉計画策定調査研究事業に伴う質的調査活動の一環として、市内33地区を対象とした住民座談会を実施しました。

期日	会場	スタッフ	参加者
9月29日	渡鹿野離島開発総合センター	5名	5名
9月30日	船越公民館	4名	5名
10月5日	塩屋生涯学習センター	5名	9名
10月6日	名田公民館	5名	5名
10月7日	志島地区公民館	4名	6名
10月14日	磯部支所2F 多目的ホール（的矢・飯浜・坂崎・三ヶ所）	4名	8名
10月15日	安乗漁民センター	4名	6名
10月16日	立神ふれあいセンター	4名	7名
10月19日	国府地区公民館	4名	5名
10月21日	鵜方公民館	8名	27名
10月21日	磯部支所2F 多目的ホール（五知・山田・沓掛・下之郷・穴川・築地・恵利原・上之郷・恵ヶ丘・川辺・梶坊・迫間1・迫間2・上之郷住宅・銀河の里）	14名	30名
10月22日	夏草公民館（堀切・桧山・山原・栗木広・夏草）	3名	10名
10月23日	御座コミュニティセンター	4名	3名
10月28日	迫子公民館	5名	10名
11月4日	越賀多目的集会施設	3名	6名
11月4日	甲賀公民館	4名	7名
11月5日	南張生涯学習センター	6名	8名

11月10日	間崎島離島開発総合センター	6名	7名
11月11日	浜島生涯学習センター	4名	5名
11月11日	社会福祉協議会大王支所 ゆうゆう苑	4名	5名
11月11日	神明公民館	4名	7名
11月12日	産業交流館ちちろ	5名	5名
11月12日	波切コミュニティセンター	5名	6名
11月13日	養心館	4名	6名
11月13日	畔名コミュニティセンター	3名	8名
11月13日	神明公民館	3名	3名
11月25日	桧山路生涯学習センター	4名	7名
11月26日	片田共同福祉施設	3名	6名
12月2日	志摩文化会館 2F 小ホール	6名	7名

4. 受託事業

(1) 地域生活支援コーディネーター事業 [志摩市より受託]

志摩町和具間崎島をモデル実施地区として、高齢化と人口減少や生活環境課題（買い物支援等）を検証し、地域住民と共に考え、地域資源コーディネーターによる地域の活性化策を図ることを目的として、地域の相談拠点整備準備を進めました。

期日	内容	会場
5月1日	地域活性化支援事業研究協議	志摩市役所
6月27日	地域生活支援コーディネーター事業説明会（住民説明会）の実施	間崎島離島開発総合センター
8月12日	地域生活支援コーディネーター事業関連内容の協議（自治会、民生委員）	間崎島離島開発総合センター
9月24日	地域生活コーディネーター事業関連協議	間崎島離島開発総合センター
10月9日	離島開発総合センター資料室借用開始	間崎島離島開発総合センター
10月14日	買い物支援相談	阿児町国府
10月19日	買い物支援検討打合せ	志摩市役所
12月8日	買い物支援検討打合せ	障がい者支援施設はばたき
12月15日	買い物支援、障がい就労検討協議	志摩市役所
12月15日	買い物支援検討打合せ	間崎いきいきセンター 間崎島離島開発総合センター
12月25日	間崎調査事業中間報告及び懇談会	間崎島離島開発総合センター
1月12日	間崎いきいきセンターショップ準備、清掃	間崎いきいきセンター
1月12日	拠点協力員相談	浜島町浜島
1月22日	買い物ツアーの実施	間崎島→賢島→阿児町内
2月1日	間崎いきいきショップ『もやい』営業開始	間崎いきいきセンター
2月26日	買い物ツアーの実施	間崎島→賢島→阿児町内
3月25日	買い物ツアー	間崎島→賢島→阿児町内
平成27年9月～ 平成28年3月	実態把握調査の実施	間崎地内

(2) 地域生活拠点づくり事業 [三重大学より受託]

磯部町の矢地区において、小地域で住民を支える地域福祉のあり方を考えるために、生活相談支援拠点を設置し、まずは実態把握調査によるニーズ把握、地域アセスメントを行い、これからの地域支援のあり方について地域介入を通じたモデル構築を目的に実施準備を進めました。

期日	内容	会場
4月28日	地域福祉計画調査研究事業関連視察	的矢区内
7月17日	地域生活拠点づくり事業実施説明及び協議	的矢区民センター
8月7日	地域福祉計画研究調査事業に伴う的矢地域（的矢、三ヶ所、渡鹿野）視察および区長との懇談	的矢区・三ヶ所区・渡鹿野区
9月2日	地域生活拠点づくり事業実施説明会	的矢区民センター
9月16日	地域生活拠点づくり事業関連協議	的矢区民センター
9月21日	的矢地区敬老会参加	的矢区民センター
10月11日	避難行動要支援者避難訓練実施説明会の参加	的矢区民センター
11月2日	的矢地区防災訓練協力	的矢区
9月～ 平成29年3月	実態把握調査の実施	対象：的矢区民宅

(3) 介護予防事業

〈1〉 家族介護教室 [志摩市より受託]

介護者等が介護に関する知識や技術を学び、交流する機会を提供して、身体的・精神的な負担の軽減を図り、在宅介護を支援することを目的に開催しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
延べ実施回数	5回	5回	5回	5回	5回	25回
延べ参加者数	89名	58名	77名	82名	91名	397名

主な内容・・・基本的な介護技術を学ぶ（8月）、要援護者支援に必要な知識を学ぶ（9月）
施設見学（11月）、合同情報交換会（12月）、介護食の調理実習（3月）

〈2〉 介護予防拠点施設（菜の花館）の運営 [志摩市より受託]

① 生きがい活動支援通所事業

閉じこもりがちな特定高齢者等を対象に通所による生活指導や趣味活動の機会を提供しました。

② 一般高齢者通所事業

一般高齢者が要介護状態とならないよう予防のための入浴、レクリエーションの機会を提供しました。

	① 生きがい活動支援通所（月・水・金）	② 一般高齢者通所（火・木）
延べ利用者数	1,103名〔前年比 +266名〕	1,016名〔前年比 +301名〕

(4) 放課後児童クラブ事業 [志摩市より受託]

志摩市が開設している「浜島放課後児童クラブ」「磯部放課後児童クラブ」を受託運営し、仕事やその他の理由などで昼間、保護者がいない小学校などに通う児童を対象に、授業終了後、遊びや集団生活の場を提供してその健全育成を図りました。

《月別延べ利用者数》

	浜島放課後児童クラブ	磯部放課後児童クラブ	合計
平成27年4月	211名	688名	899名
5月	165名	586名	751名
6月	173名	635名	808名
7月	243名	730名	973名
8月	257名	651名	908名
9月	152名	526名	678名

10月	162名	654名	816名
11月	129名	541名	670名
12月	140名	559名	699名
1月	127名	541名	668名
2月	97名	564名	661名
3月	98名	574名	672名
合計	1,954名	7,249名	9,203名
〔前年比〕	-1,551名	+697名	-854名

【年度別延べ利用者数推移】

〔単位：名〕

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
浜島児童クラブ	1,669	1,903	2,279	3,505	1,954
磯部児童クラブ	6,201	7,230	7,441	6,552	7,249
合計	7,870	9,133	9,720	10,057	9,203

5. 福祉サービス利用援助事業

(1) 在宅介護支援事業

地域で支援や見守りが必要な在宅の高齢者などを把握し、在宅介護に関する相談及び保健、福祉などのサービスが総合的に受けられるための支援を行いました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	市外	合計
①相談・助言	32件	139件	94件	39件	51件	14件	369件
内訳	介護	2件	3件	4件	2件	2件	13件
	生活・家族	13件	44件	68件	12件	15件	156件
	福祉サービス	8件	38件	17件	13件	11件	89件
	医療	0件	1件	0件	4件	5件	10件
	経済的問題	6件	37件	5件	6件	9件	69件
	権利擁護	3件	16件	0件	2件	9件	32件
②実態把握調査	6件	14件	9件	9件	6件		44件
③介護者の会支援	2回	1回	0回	11回	14回		28回
④介護予防教室等	0回	0回	0回	4回	0回		4回
⑤福祉機器貸与	8件	19件	25件	29件	15件		96件

(2) 障がい者相談支援事業

障がいのある人が地域で生活する上での困りごとについて相談に応じ、各種情報の提供や関係機関の紹介など必要な助言を行うとともに、必要に応じてサービスの利用計画を作成し福祉サービスの利用を支援しました。(12月まではきらり事業所が担当。1月より大王・磯部事業所の両居宅介護支援事業にて担当。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
新規	0件	0件	3件	1件	2件	2件	
更新・変更	4件	6件	7件	6件	7件	7件	
モニタリング	4件	6件	12件	5件	5件	11件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	2件	1件	0件	0件	0件	1件	12件
更新・変更	4件	3件	13件	7件	7件	12件	83件
モニタリング	6件	13件	6件	9件	9件	6件	92件

(3) 日常生活自立支援センター事業 [三重県社会福祉協議会より受託]

日常生活自立支援事業を三重県社会福祉協議会から受託し、判断能力に不安のある高齢者、障がいのある人などに福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類などの預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援しました。

〈1〉活動報告

	名称 / 志摩日常生活自立支援センター						合計	
	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	南伊勢町		
相談・助言	2件	8件	4件	18件	11件	2件	45件	
利用契約数	1件	3件	1件	6件	0件	4件	15件	
解約数	0件	3件	3件	10件	0件	2件	18件	
利用者数	12名	14名	7名	32名	11名	10名	86名	
区分	認知症	4名	4名	6名	9名	7名	4名	34名
	知的障がい	5名	5名	0名	10名	2名	4名	26名
	精神障がい	2名	4名	1名	11名	2名	2名	22名
	その他	1名	1名	0名	2名	0名	0名	4名
生活支援員数	7名	1名	3名	12名	3名	5名	31名	
生活支援訪問回数	406回	261回	162回	448回	62回	193回	1,532回	
専門員対応生活支援訪問回数	21回	56回	2回	136回	147回	25回	387回	
その他	155回	398回	166回	938回	384回	135回	2,176回	
◆相談・助言 / 問い合わせ件数・初回相談件数								
◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数								

(4) 成年後見制度 (法人後見)

認知症、知的障がい、精神障がいなどの障がいにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援しました。また、法人後見への取り組みを整理しました。

	後見	保佐	補助	任意後見	合計
年度当初既受任者数	12名	4名	0名	0名	16名
年度内新規受任者数	1名	0名	0名	0名	1名
年度内後見終了者数	2名	2名	0名	0名	4名
年度末利用者数合計	11名	2名	0名	0名	13名

(5) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援、就労準備支援、家計相談支援の3つの事業を志摩市から受託し、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを目的に、生活困窮者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行いました。

〈1〉自立相談支援事業

複合的な課題を有する生活困窮世帯の自立生活に向け包括的・継続的な支援を行い、生活保護へ陥ることのないよう相談支援を実施しました。

この他、相談支援のネットワークによる活動として、ハローワーク伊勢と生活保護受給者等就労自立促進事業で行う巡回相談事業の活用。三重県社会福祉協議会が実施する緊急食糧提供事業を活用しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
新規相談受付件数	5件	9件	5件	8件	5件	7件	39件	
ハローワーク巡回相談の利用	0件	0件	0件	4件	4件	4件	12件	
緊急食糧提供事業の活用				1件	3件	3件	7件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
新規相談受付件数	3件	3件	5件	3件	5件	6件	25件	64件
ハローワーク巡回相談の利用	3件	1件	3件	0件	2件	3件	12件	24件
緊急食糧提供事業の活用	2件	3件	4件	1件	3件	4件	17件	24件

〈2〉就労準備（訓練）支援事業

直ちに一般就労への移行が困難な相談者に対し、その準備として生活リズムを整えるなど基礎的な力を身につけることを目的に地元企業と訓練の受け入れ協定を交わしました。また、本会が中間的就労の訓練事業者として相談者の受け入れ対応ができるよう、三重県へ認定事業所申請を行いました。

〈3〉家計相談支援事業

家計相談に応じ家計表や家計計画の作成を行い、また緊急一時的な生計の支援のため生活福祉資金貸付事業（総合支援資金及び緊急小口資金）の利用に関する相談あっせんも行いました。

（6）生活福祉資金貸付事業〔三重県社会福祉協議会より受託〕

生活福祉資金貸付事業を三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援しました。

〈相談件数〉

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
相談・助言	6件	3件	2件	19件	3件	33件

〈貸付件数〉

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
年度当初既貸付件数	8件	11件	25件	70件	15件	129件
年度内新規貸付件数	1件	2件	1件	11件	1件	16件
年度内償還完了等件数	0件	2件	1件	3件	1件	7件
3月末貸付件数	9件	11件	25件	78件	15件	138件

〈平成27年度新規貸付金額〉

資金種別	件数	金額
教育支援資金	7件	8,843,000円
緊急小口資金	8件	430,000円
臨時特例つなぎ資金	1件	100,000円
合計	16件	9,373,000円

(7) 専門相談会

土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催しました。

相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談 (司法書士)
開催回数	20回	12回
相談件数	70件	47件

6. 赤い羽根共同募金運動の協力

社会福祉法人三重県共同募金会志摩市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力し、地域福祉の財源確保に努めました。

(1) 運営委員会 計5回

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 5月25日	1. 社会福祉法人三重県共同募金会志摩市共同募金委員会会則の一部変更について 2. 平成26年度事業実施報告について 3. 平成26年度一般会計決算の承認について 4. 平成26年度(27年度充当)共同募金配分計画変更について 5. 平成27年度(28年度充当)共同募金配分計画について	運営委員12名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき研修室
[第2回] 6月4日	1. 運営委員(補欠)の選任について	回答者12名	(書面運営委員会)
[第3回] 8月26日	1. 平成27年度共同募金目標額について	運営委員12名 監事2名	カライフあご多目的ホール
[第4回] 1月28日	1. 志摩市共同募金委員会運営委員及び監事の専任について	運営委員12名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第5回] 2月29日	1. 運営委員の選任について 2. 会長及び副会長の選任について 3. 平成27年度一般会計補正予算について 4. 平成28年度事業計画について 5. 平成28年度一般会計予算について	運営委員11名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき研修室

(2) 監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第1回] 5月8日	平成26年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①平成26年度事業実施報告書 ②平成26年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事2名	カライフあご相談室

(3) 共同募金運動発展強化モデル推進事業

地域における共同募金運動実施体制の整備や募金増強のため、三重県共同募金会が実施するモデル事業を実施しました。

実施内容：アンケート調査により県下の共同募金委員会の状況及び課題について把握
先進的な取り組みをしている委員会との情報交換会・勉強会を実施

(4) 一般募金

期間：10月1日～12月31日

[単位：円]

募金種別	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	666,000	768,105	1,232,851	1,567,038	1,015,094	5,249,088
法人募金	0	0	0	6,500	0	6,500
街頭募金	7,299	14,674	12,652	55,428	37,134	127,187
学校募金	0	0	6,952	0	4,098	11,050
職域募金	2,260	1,922	2,347	26,605	2,288	35,422
イベント募金	0	0	0	14,256	0	14,256
個人募金	0	0	3,940	7,000	0	10,940
その他	0	0	730	47,921	11,719	60,370
UMO				9,510		9,510
合計	675,559	784,701	1,259,472	1,734,258	1,070,333	5,524,323

[前年比：-119,408円]

【一般募金の推移】

[単位：円]

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般募金	6,377,111	6,289,495	5,782,809	5,643,731	5,524,323

(5) 歳末たすけあい募金 期間：12月1日～12月31日

[単位：円]

募金種別	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	669,200	357,127	1,188,601	1,524,905	1,011,374	4,751,207
法人募金	93,000	73,000	139,000	182,276	272,000	759,276
街頭募金	0	12,872	0	25,652	0	38,524
学校募金	0	0	16,030	0	0	16,030
職域募金	11,298	4,003	0	18,599	8,751	42,651
イベント募金	0	0	0	32,078	0	32,078
個人募金	0	0	0	2,000	0	2,000
その他	12	5,243	2,635	2,853	1,369	12,112
合計	773,510	452,245	1,346,266	1,788,363	1,293,494	5,653,878

[前年比：+68,003]

【歳末たすけあい募金の推移】

[単位：円]

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歳末募金	6,114,208	5,471,617	5,771,933	5,585,875	5,653,878

7. 当事者団体の活動支援、協力

(1) 志摩市老人クラブ連合会・志摩市身体障害者福祉連合会等

志摩市老人クラブ連合会及び志摩市身体障害者福祉連合会等の各種福祉団体の自主運営を支援しました。

期日	事業名	会場
10月8日	志摩市身体障がい者福祉体育大会	阿児アリーナ
11月18日	志摩市老人クラブ連合会スポーツ交流大会	磯部ふれあい公園

12月10日	志摩市障がい者福祉大会 志摩市障がい者忘年芸能発表会	阿児アリーナ
2月11日	志摩市老人クラブ連合会役員研修会	磯部生涯学習センター

8. 事業評価と今後の課題 【地域福祉活動推進事業】

合併前と変わらず、上記ボリュームの事業を丁寧に着実にコーディネートしながら、今年度は地域に多機能の生活支援拠点づくりをめざす試行事業を志摩市と三重大学からそれぞれ受託しました。また、次年度に向けた地域福祉計画策定作業の一環として、地区座談会を市と共同し市内 29カ所で開催、住民ニーズの把握に努めました。これまで取り組んでいる事業も新たな挑戦も地域との信頼づくりという観点から、大切な事業ではありますが、法人の健全運営を考えた時、充当財源を明確にした上で、その範囲内で最大の効果が出せるよう発展的縮小を進めることは避けて通ることはできません。市当局への財源確保の働きかけを含めて、地域福祉のどの部分をどこがどの費用で担うのかについて、その覚悟や限界を真摯に話し合い、次年度以降の事業計画に反映させなければなりません。

III. 在宅福祉サービス事業

1. 介護保険サービス関係事業

(1) 居宅介護支援事業

事業内容	介護保険で要介護認定されたご本人及びご家族の依頼により利用者の心身の状態及び家庭の状況に応じて、利用者の希望に基づき、適切な介護サービスが総合的に受けられるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。また要支援認定された方に対して、志摩市などからの委託により介護予防プランの作成も行います。		
介護保険収入	149,330,020円	延べ作成件数	9,565件

【平成27年度月別ケアプラン作成件数】

	大王事業所		きらり事業所		磯部事業所		合計
	介護	予防※	介護	予防※	介護	予防※	
平成27年4月	347件	8件	2件	0件	412件	14件	783件
5月	349件	7件	2件	0件	419件	13件	790件
6月	349件	7件	2件	0件	419件	13件	790件
7月	341件	7件	2件	0件	427件	12件	789件
8月	353件	8件	1件	0件	420件	12件	794件
9月	360件	11件	2件	0件	416件	13件	802件
10月	370件	11件	2件	0件	415件	16件	814件
11月	369件	14件	2件	0件	420件	16件	821件
12月	361件	14件	2件	0件	415件	16件	808件

1月	351件	13件	1件	0件	409件	16件	790件
2月	347件	14件	1件	0件	410件	19件	791件
3月	349件	14件	2件	0件	408件	20件	793件
事業所別合計	4,246件	128件	21件	0件	4,990件	180件	9,565件
〔前年比〕	-62件	32件	+1件	±0件	-249件	-79件	-357件

※予防に係るケアプラン策定事業については、志摩市以外に明和町、伊勢市東地区包括支援センターより受託。

【年度別推移】 [単位：収入/円，作成数/件]

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
介護保険収入	149,055,240	147,909,040	148,688,120	144,380,790	149,330,020
延べ作成件数	9,964	10,117	10,198	9,922	9,565

(2) 訪問介護事業 <<阿児事業所>>

事業内容	訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行います。		
介護保険収入	88,243,911円	延べ利用者数	30,946名

【平成27年度月別延べ利用者数及び延べサービス提供時間数】 [時間：分]

	延べ利用者数	延べサービス提供時間数
平成27年4月	2,674名	2,545：00
5月	2,768名	2,617：45
6月	2,886名	2,825：00
7月	2,695名	2,568：45
8月	2,611名	2,447：30
9月	2,570名	2,420：45
10月	2,664名	2,514：00
11月	2,587名	2,449：30
12月	2,581名	2,431：30
平成28年1月	2,383名	2,279：45
2月	2,321名	2,222：15
3月	2,206名	2,092：45
事業所別合計	30,946名	29,414：30
〔前年比〕	-2,996名	-3,292：36

【年度別推移】 [単位：収入/円，利用者数/名]

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
介護保険収入	128,826,367	122,736,864	109,291,307	97,267,434	88,243,911
延べ利用者数	44,093	42,153	39,499	33,942	30,946

(3) 訪問入浴介護事業 <<阿児事業所>>

事業内容	自宅の浴槽では入浴が困難な方に対して、看護師及び介護職員等が入浴車で訪問し、お部屋で入浴介助を行ないます。		
介護保険収入	16,995,270円	延べ利用者数	1,330名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	121 名	111 名	139 名	133 名	112 名	106 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	112 名	107 名	98 名	84 名	99 名	108 名
延べ利用者合計			1,330 名〔前年比 -330 名〕			

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／名〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
介護保険収入	24,517,300	27,258,970	22,083,320	21,316,190	16,995,270
延べ利用者数	1,948	2,134	1,735	1,660	1,330

(4) 通所介護事業

事業内容	デイサービスセンターまで通所していただき、食事や入浴の介護サービスや健康体操、レクリエーションなどを日帰りで行います。				
介護保険収入	275,287,149 円		延べ利用者数	32,116 名	

【平成 27 年度月別延べ利用者数】（予防・基準該当生活介護含む）

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	きらり事業所	合計
事業所利用定員	35 名	40 名	35 名	40 名	10 名	
平成 27 年 4 月	629 名	601 名	573 名	712 名	67 名	2,582 名
5 月	611 名	609 名	516 名	656 名	42 名	2,434 名
6 月	689 名	664 名	558 名	798 名	54 名	2,763 名
7 月	671 名	685 名	594 名	826 名		2,776 名
8 月	637 名	630 名	534 名	740 名		2,541 名
9 月	644 名	669 名	543 名	781 名		2,637 名
10 月	684 名	803 名	608 名	836 名		2,931 名
11 月	658 名	756 名	569 名	789 名		2,772 名
12 月	642 名	665 名	526 名	750 名		2,583 名
1 月	595 名	710 名	548 名	717 名		2,570 名
2 月	598 名	746 名	581 名	769 名		2,694 名
3 月	641 名	771 名	587 名	834 名		2,833 名
事業所別合計	7,699 名	8,309 名	6,737 名	9,208 名	163 名	32,116 名
〔前年比〕	320 名	314 名	-1,140 名	950 名	-647 名	-203 名
サービス提供日数	292 日	293 日	293 日	292 日	61 日	
1 日平均	26.4 名	28.4 名	23.0 名	31.5 名	2.7 名	

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
介護保険収入	296,895,290	310,271,706	312,426,429	283,839,718	275,287,149
延べ利用者数	33,252	35,507	35,534	32,345	32,116

※志摩通所介護事業所は平成 24 年度末で廃止。上表の年度別推移表には、志摩通所介護事業の実績（収入、利用者数）を除いております。

※きらり事業所は 6 月末で廃止し、希望者は阿児事業所へ順次移行させていただきました。

※大王・阿児事業所は 7 月から、また、浜島・磯部事業所は 9 月から祝日営業を開始しました。

(5) 福祉用具貸与事業 《阿児事業所》

事業内容	個人では購入しづらい福祉機器を貸し出したり、販売することによって、在宅の環境を整え、在宅での生活と介護を支援します。		
介護保険収入	2,568,880 円	延べ利用者数	187 名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
貸与利用者数	13 名	14 名	15 名	15 名	18 名	19 名
販売利用者数	1 名	1 名	0 名	3 名	1 名	0 名
合計	14 名	15 名	15 名	18 名	19 名	19 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
貸与利用者数	19 名	15 名	14 名	13 名	13 名	13 名
販売利用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
合計	19 名	15 名	14 名	13 名	13 名	13 名
利用者数合計	貸与利用者	181 名〔前年比－28 名〕		販売利用者	6 名〔前年比＋5 名〕	

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
介護保険収入	2,531,830	3,012,140	3,425,730	2,702,210	2,568,880
延べ利用者数	212	251	279	209	187

(6) 訪問看護事業 《磯部事業所》

事業内容	看護師等がご自宅まで訪問して、主治医の指示により、療養のお世話や必要な診療の補助を行います。また一部病状によっては医療保険の対象になります。		
介護保険収入	13,764,090 円	延べ利用者数（介護）	2,330 名
医療保険収入	3,867,980 円	延べ利用者数（医療）	426 名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
介護保険	196 名	187 名	223 名	194 名	192 名	191 名
医療保険	35 名	35 名	34 名	36 名	26 名	45 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
介護保険	201 名	181 名	176 名	193 名	193 名	203 名
医療保険	45 名	38 名	31 名	30 名	30 名	41 名
延べ利用者数合計	介護保険	2,330 名〔前年比－163〕		医療保険	426 名〔前年比－11〕	

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
介護保険収入	22,010,280	20,360,450	18,298,620	15,465,050	13,764,090
医療保険収入	1,075,595	2,803,540	3,565,900	3,870,890	3,867,980
延べ利用者数(介)	3,679	3,187	2,904	2,493	2,330
延べ利用者数(医)	122	311	408	437	426

2. 障がい福祉サービス関係事業

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業（ヘルパーセンターあんず〈阿児事業所〉）

事業内容	訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴、排泄、食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行っています。		
自立支援費等収入	35,119,647 円	延べ利用者数	6,791 名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

[時間：分]

	居宅介護		重度訪問介護		同行援護		移動支援(市委託事業)	
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数
4 月	355 名	444 : 15	67 名	95 : 30	88 名	211 : 00	25 名	54 : 00
5 月	345 名	426 : 45	75 名	104 : 30	94 名	200 : 00	34 名	75 : 00
6 月	367 名	466 : 15	77 名	107 : 00	90 名	193 : 00	35 名	86 : 00
7 月	372 名	458 : 00	80 名	111 : 00	76 名	203 : 00	38 名	87 : 30
8 月	355 名	444 : 30	77 名	103 : 30	74 名	168 : 30	34 名	88 : 30
9 月	367 名	468 : 00	79 名	110 : 30	85 名	175 : 00	35 名	95 : 45
10 月	387 名	494 : 45	77 名	107 : 30	85 名	177 : 00	33 名	91 : 30
11 月	373 名	460 : 00	75 名	105 : 30	96 名	209 : 00	32 名	89 : 00
12 月	390 名	499 : 00	78 名	109 : 00	98 名	256 : 30	31 名	74 : 30
1 月	375 名	456 : 15	75 名	105 : 00	86 名	215 : 30	31 名	72 : 30
2 月	361 名	440 : 15	73 名	102 : 00	73 名	173 : 00	37 名	87 : 30
3 月	399 名	507 : 15	83 名	115 : 30	87 名	211 : 00	32 名	71 : 30
合計	4,446 名	5,565 : 15	916 名	1,276 : 30	1,032 名	2,392 : 30	397 名	973 : 15

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延べ利用者数	535 名	548 名	569 名	566 名	540 名	566 名
延べ提供時間	804 : 45	806 : 15	852 : 15	859 : 30	805 : 00	849 : 15
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	582 名	576 名	597 名	567 名	544 名	601 名
延べ提供時間	870 : 45	863 : 30	939 : 00	849 : 15	802 : 45	905 : 15
延べ利用者数合計	6,791 名 [前年比 -609 名]			延べ提供時間数合計		10,207 : 30 [前年比 +1,058 : 00 分]

【年度別推移】

[単位：収入／円，利用者数／人]

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
自立支援費等収入	28,617,840	33,982,720	31,994,920	30,940,541	35,119,647
延べ利用者数	(9,285)	7,678	7,017	7,400	6,791

(2) 障がい者生活介護センター事業

事業内容	施設まで通所していただき、常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供しています。		
自立支援費等収入	82,005,406 円	延べ利用者数	8,106 名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

	生活介護センター きらり 【阿児】	生活介護ステーション さくら苑 【浜島】	合計
平成 27 年 4 月	520 名	190 名	710 名
5 月	490 名	169 名	659 名
6 月	584 名	221 名	805 名
7 月	587 名	208 名	795 名
8 月	522 名	200 名	722 名
9 月	447 名	174 名	621 名
10 月	478 名	191 名	669 名
11 月	423 名	177 名	600 名
12 月	415 名	177 名	592 名
1 月	426 名	174 名	600 名
2 月	443 名	191 名	634 名
3 月	502 名	197 名	699 名
合計	5,837 名	2,269 名	8,106 名
〔前年比〕	-413 名	+206 名	-207 名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
自立支援費等収入	63,299,660	70,162,032	70,343,309	80,104,690	82,005,406
延べ利用者数	7,044	7,469	7,527	8,313	8,106

(3) 障がい者地域活動支援センター事業

〈1〉日中一時支援事業

事業内容	障がいのある人の日中の活動の場を確保し、その家族の就労を支援して、一時的な休息の場を提供しています。		
事業収入	464,980 円	延べ利用者数	196 名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	19 名	12 名	17 名	15 名	15 名	18 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	18 名	14 名	14 名	16 名	16 名	22 名
延べ利用者数合計		196 名〔前年比 -9 〕				

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
事業等収入	1,777,612	1,168,149	544,645	472,746	464,980
延べ利用者数	566	468	232	205	196

(4) 障がい児童デイサービスセンター事業

事業内容	障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行っています		
自立支援費等収入	30,944,863 円	延べ利用者数	3,926 名

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

	浜島・くれよん	大王・ゆうゆう	合計
平成 27 年 4 月	210 名	121 名	331 名
5 月	173 名	98 名	271 名
6 月	226 名	112 名	338 名
7 月	240 名	152 名	392 名
8 月	213 名	188 名	401 名
9 月	189 名	89 名	278 名
10 月	208 名	105 名	313 名
11 月	199 名	116 名	315 名
12 月	194 名	139 名	333 名
平成 28 年 1 月	187 名	128 名	315 名
2 月	202 名	96 名	298 名
3 月	192 名	149 名	341 名
合計	2,433 名	1,493 名	3,926 名
〔前年比〕	-326 名	+402 名	+76 名

【年度別推移】

〔単位 : 収入／円, 利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
自立支援費等収入	34,946,702	37,725,002	36,443,897	35,637,539	30,944,863
延べ利用者数	3,700	4,297	4,031	3,850	3,926

(5) 就労支援事業

〈1〉 事業実施状況

① 就労継続支援 B 型事業

事業内容	一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行ないます。		
就労支援事業収入	40,531,152 円	延べ利用者数	16,168 名
自立支援費等収入	138,519,763 円		

【平成 27 年度月別延べ利用者数】

障がい者支援施設名	障がい者支援施設 はばたき	障がい者支援施設 あいのその	障がい者支援施設 えりはら	合計
事業所の定員	20 名	20 名	40 名	
平成 27 年 4 月	399 名	334 名	696 名	1,429 名
5 月	360 名	260 名	604 名	1,224 名
6 月	446 名	311 名	706 名	1,463 名
7 月	445 名	314 名	706 名	1,465 名
8 月	435 名	303 名	612 名	1,350 名
9 月	394 名	278 名	580 名	1,252 名
10 月	439 名	308 名	695 名	1,442 名
11 月	417 名	305 名	588 名	1,310 名
12 月	413 名	275 名	595 名	1,283 名

平成 28 年 1 月	377 名	262 名	603 名	1,242 名
2 月	417 名	270 名	602 名	1,289 名
3 月	447 名	319 名	653 名	1,419 名
合計	4,989 名	3,539 名	7,640 名	16,168 名
〔前年比〕	-9 名	-574 名	-837 名	-1,420 名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
就労支援事業収入	40,434,548	39,037,537	36,497,402	38,610,819	40,531,952
自立支援費等収入	128,025,080	142,297,880	149,491,030	150,457,329	138,519,763
延べ利用者数	16,519	16,912	18,039	17,588	16,168

②就労移行支援事業

事業内容	一般就労に向けて必要な知識・能力を養い、本人の適性に見合った職場への就労と定着を目指します。		
就労支援事業収入	209,890 円	延べ利用者数	154 名
自立支援費等収入	1,556,410 円		

〈2〉就労支援事業内容

中心施設	付属作業場	作業内容等	備考
障がい者 支援施設 はばたき 利用者 34 名	福祉農園	農園芸作業・食品加工・販売活動 ※本体施設内	花卉園芸作業 野菜づくり等
	菓子工房 エスパス	クッキー・ケーキ作り、販売 ※本体施設内	菓子製造作業
	喫茶 ひまわり	喫茶店・飲食店経営 ※チラシあご	※10 月より喫茶 業務を休止しま した。
	味処 はばたき	飲食店・レストラン経営 ※市役所本庁舎	飲食 弁当仕出し ケーキ等販売
	福祉市場 レインボー	地場産品直売所運営、受託販売 ※市役所横直売店舗	農産品 水産加工品 鮮魚販売
	その他	受託建物清掃・公園清掃作業 ひきこもり社会参加促進事業 工賃倍増新商品の開発事業等	チラシ清掃 県道公園清掃 スパイン村ほか
障がい者 支援施設 あいのその 利用者 20 名	本体施設	真珠商品・ビーズ商品作成販売 EM関連商品作り・販売 リサイクル作業（資源回収選別） 清掃作業、鮮魚移動販売 水産関係委託作業	自主製品販売、道 の駅・ホテル等へ 委託販売
	味工房 ともやま	関係施設の給食調理・運搬 高齢者食事サービス弁当調理 観光客向け飲食店・調理業務	野外活動センター等 との連携業務
	つばさ 作業場	ミニ畳、手編みマットの作成・販売 EM関連商品作り・販売、清掃作業 リサイクル作業（資源回収選別）	自主製品販売、道 の駅・ホテル等へ 委託販売

障がい者 支援施設 えりはら 利用者 42名	本体施設	パン製造・販売 手芸、紙すき製品等作成・販売 電器会社等受託作業（2社） 農園芸作業	毎月フェアーパーン販売 会社、サロン等で販売
	ひかり 作業場	電器会社等受託作業（2社） リサイクル作業（資源回収）	志摩市のリサイクル活動事業所として登録
障がい者就労 支援事業所 「ひまわり」 (多機能型)	就労移行支援 2名	水福連携 牡蠣貝掃除他 間崎ショップ運営、喫茶業務	H28年2月～喫茶 ひまわり業務を再開（飲み物販売他）
	就労継続支援 A型事業所 (利用者無)	平成28年3月事業指定 移行支援と連携し作業実施予定	※H28年度～稼働 予定

〈3〉その他

①障がい者支援施設はばたき

- ・平成26年度末より、生活困窮自立支援の事業との共同で生活困窮者の実習の受け入れをしています。
- ・地域のイベント等の行事にも販売活動等で積極的に参加し、就学前児童、小学生、中学生の体験・交流の場を計画・実施しています。
- ・地域の学生の体験・実習の受入等を行っています。
- ・平成27年末より、各作業場と合同で地域のかき養殖場へ出向き、牡蠣殻清掃作業を行っています。

②障がい者支援施設あいのその

- ・地域の学生の体験・実習の受け入れ等を行っています。
- ・販売については、地域の方々から自主製品の材料提供や委託販売への協力をいただいています。また、地域行事へ出店し、事業の啓発を行っています。
- ・外出等の行事を取り入れ、さまざまな体験や生活訓練を実施しています。

③障がい者支援施設えりはら

- ・従たる作業場 あいあいを本体施設へ統合しました。（平成27年6月1日）
- ・地元の祭り、朝市、サロン、学校等へ販売でお伺いする事で地域の方と交流する機会となっています。
- ・地域の学生、生徒の体験・実習の受入を行っています。
磯部中学校職場体験 5月20日～22日 3名、
- ・日帰り旅行、外出、レクリエーション大会、健康講演会等、文化的な活動、体験、生活訓練を行いました。
- ・一般就労した利用者へのサポートも継続的に行っています。
- ・9月より、水産業と福祉の連携事業として、かき清掃の作業を行っています。

3. ふくし移送サービス事業〔福祉有償運送事業〕

(1) 公的介護サービスにともなう移送サービス事業（独自事業）

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者や障がい者に対して、福祉車両を用いて通院など（介護保険、障がい自立支援法に基づく通院介助）を支援しました。

(2) 外出支援サービス事業 [志摩市より受託]

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者等に対して、福祉車両を用いて定期的な通院など（市の要綱に基づく外出）を支援しました。

(3) ふくし移送サービス事業（独自事業）

公共交通機関、介護保険、その他公的福祉サービスを利用できない介護・介助が必要な方に対して、福祉車両を用いて買い物や通院などの外出を支援しました。

【ふくし移送サービス事業の利用状況】

	(1)介護一体型	(2)外出支援	(3)その他一般型	合計
延べ利用回数	786回	309回	370回	1,465回
[前年比]	-232回	-29回	-207回	-468回

【年度別延べ利用回数推移】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
介護一体型	872回	1,172回	1,122回	1,018回	786回
外出支援	350回	280回	273回	338回	309回
その他一般型	2,900回	2,036回	974回	577回	370回
合計	4,122回	3,488回	2,369回	1,933回	1,465回

4. 事業評価と今後の課題 [在宅福祉サービス事業]

通所介護事業において、以前からの課題であった祝日営業については、7月（一部9月）から開始をしました。また、安価な食事代の施設を選ぶ利用者が多い大王地区での食事代の値下げ、男性利用者や若い利用者の受け入れに目を向けた取り組み、居宅介護支援事業所への働きかけなど集客、増収に努めました。これらにより、利用者数は、阿児通所を除き26年度を上回る数を確保することができましたが、全体的には、その利用者数の落ち込みをカバーすることができず、昨年度を下回る結果になりました。収入面では、この利用者数の減少と27年度介護報酬改定に伴う「基本報酬」の引き下げによる影響等によって減収となってしまいました。

訪問系事業においては、思うように人材の確保ができず、新規利用者や現利用者の回数増加希望にも対応が困難な状況があり利用者増につながっていないのが現状です。

サービスの質の向上はもとより、居宅介護支援事業者と連携を密にするなど今後も利用者増や増収を図るため、また経費削減にも目を向けて取り組んでいく必要があります。さらには、現在の事業の拡張や新たな事業展開も視野に入れ取り組んでいきます。

障がい福祉サービスにおいても、利用者の利用回数が減少傾向になってきています。特に今年度は、就労継続支援B型事業所の「あいのその」、「えりはら」においての利用数が大きく減ってしまいました、その要因の一つには、民間の業界参入が進んできていることがあげられます。28年度は、今後の事業の方向性を再確認する時期に来ています。合併時から規模の変わらない現状のままでは、介護保険と同様に利用者の減少が進むことが予想され、一定の役割は終えたものとして、縮小を受け入れていくのか、更なるニーズに対応するための多機能性を発展させていくのか悩ましいところです。現状では、抱える職員数が一番多い部署であり、本会の運営に与える影響が大きという観点から、増える精神障がい者への対応、住居・住まいのニーズ、多様な働く機会の確保（水産と福祉の連携など）といった新たな分野へ挑戦する準備を進めていきます。